

平成27年度 教育事業
「親子チャレンジキャンプ in 阿蘇」事業報告書

企画指導専門職 加治佐秀樹

1 事業概要

- (1) 実施期間 平成27年7月18日(土)～19日(日) 【1泊2日】
- (2) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家 マゼノの沢
- (3) 参加人数 総数80名 (参加者54名、講師4名、ボランティア7名、講師家族6名、ネイチャーランド2名、職員6名、文科省視察1名)
- (4) 主な事業内容
- 1日目 沢のぼり、子育て講演会(保護者)、わくわく忍者修行(子ども)、絵本ヨガ
- 2日目 野外調理

2 成果と課題

(1) 成果

- ① 沢登りでは、ゴールの滝で、参加者が一体となる場面(滝つぼに飛び込めない子へみんなで声かけ)があった。参加者は困難を乗り越えたことが自信にもつながり、体験活動の楽しさも感じたようだった。
- ② 講師の先生が2日間に渡って帯同してくださったため、参加者だけでなく、職員も学ぶことが多く、とてもありがたかった。
- ③ 保護者から「今までのことを考えると少し過保護すぎたかもしれません。うちの子もこんなにいろいろなことができるのですね。」と、実感されている方が数多くいらっしゃった。
- ④ 大人・子どもを問わず、参加者から「まだ、いたい。楽しかった。」「スキーが楽しみ。」という声が聞かれた。
- ⑤ 初めての事業だったので手探りの状態ではあったが、参加者の満足度はとても高かった。事業後に、学級レクリエーションや部活動、個人でも利用したいと言ってこられた家族もたくさんいて、利用促進にもつながったと思われる。

(2) 課題

- ① 参加者への指示をもう少し細かくしなくてはいけなかった。例えば、お昼の休憩を外輪山(西湯浦展望所)と案内したが、どのくらいの距離なのか、どのくらいの時間がかかるのかなどの細かな情報が知りたかったようだ。
- ② 夜のプログラムの「子育て講演会」に参加せず、勝手に過ごしていた保護者がいた。今回の事業の趣旨からもとても大切な話が聞けたのに、残念であった。
- ③ 昨年度から阿蘇市の母子寡婦連合会へ声をかけていたが、参加応募者が少なかったため、急遽、熊本県母子寡婦連合会に相談したところ、結果、予定の倍の参加者が集まってしまい運営上大変であった。来年度の募集に生かしたい。